

R5千郷 地域意見交換会

10月25日ちさと館(西部公民館)

地域	番号	月日	場所	テーマ	参加者からの意見、提言内容	回答等	回答後の対応又は現時点の進捗状況等(12月末現在)
千郷	1	10月25日	西部公民館	学校給食のあり方について	他の自治体ではオーガニック給食の導入が進み始めています。千葉県いすみ市では有機農業で生産したオーガニック米を農協が全部買い上げ、精米し学校給食センターに供給しています。子供たちの食育を地域全体で考えていきたいと思っています。学校給食のあり方とオーガニック給食の導入に向けての検討をお願いします。	学校給食食材の高騰対策として、今年度後半に向けて1食60円の補助を検討しています。学校給食で使用する食材のうち米については100%地元産を使っています。学校給食にオーガニック野菜を使う場合、高価な食材を税金で賄うというコストの事情もあることをご理解いただきますようお願いいたします。また、市内で生産されるオーガニック野菜の生産量を把握する必要がありますが、一度に学校給食の全てをオーガニックにすることは難しいと考えています。生産者の皆様には生産性を上げるご努力をお願いいたします。国の方向性として「みどりの食料システム戦略」により農業はオーガニックにシフトしていきますので、引き続き農業課と情報交換やご相談をいただきたいと思います。(市長)	学校給食課では、令和6年9月の共同調理場稼働に向け様々な調整を進めています。有機食材導入に係る相談もいただいております。しかしながら、現在の自校方式を共同調理場方式へ転換するために、食材購入の流れや発注方法等これまでの仕組みを大きく変える必要があることから、共同調理場へ切り替わった後も学校給食をきちんと提供することを最優先事項として捉え準備を進めているところです。従いまして、稼働と同時に有機食材導入を始めることは厳しいかもしれませんが、学校給食で必要となる食材の量、必要となる時期など稼働後得られるデータが多々ありますので、それらと有機食材導入に向けた課題をしっかりと精査し、調整を進めていきたいと考えています。(教育部長)
千郷	2	10月25日	西部公民館	ハラスメントへの対策について	昨今、全国的にハラスメントに関するニュースが多く流れていますが、今の社会情勢や作手診療所で発生したハラスメントを踏まえ、新城市はいかなるハラスメントも許さないという宣言をしていただきたい。	市役所内でハラスメントは断じてあってはならないという強い意識で臨んでいます。そうしたことから市役所では庁内にハラスメント相談員を配置し、職員が相談をしたい場合は円滑に対応できるようにしています。また、そのような事案に対しては迅速な対応が必要だと考えていますので、適切な対応ができるよう規定も設けております。ハラスメントに対しては厳しい視点で取り組みを続けてまいります。(市長)	左の回答等のとおりです。(企画部長)
千郷	3	10月25日	西部公民館	市街化区域内での建築について	市街化区域で都市計画税も納めているが、家を建てられない所がある。昭和26年に農林省から払い下げられ、その後財産区から個々に払い下げられた土地です。4年ほど前に市役所に相談しているが回答がありません。住民にとって家を建てられないことは死活問題なので、どこまで検討されているのか回答をお願いします。	建築基準法や接道などの関係で、市街化区域であっても家が建てられない所があることは承知しています。ご指摘の場所については、相談記録などを確認させていただき、後日回答させていただきます。(建設部長)	10月26日に質問者に担当課が訪問し、接道要件について説明を行い、ご理解をいただきました。(建設部長)
千郷	4	10月25日	西部公民館	人口減少対策について	人口減少については昨年のお返では25歳から35歳の人口流出が多いとのことでしたが、昨年は出生者数が138人しか生まれていません。市町村合併から約1万人人口が減っており、市の衰退に繋がると思います。市民の平均所得は県下51番目で下から4番目です。市では高速バス山の湊号を運行していますが利用者が少ないと思うので、長篠設楽原古戦場と長久手古戦場を結びつけて利用者を増やすなど稼ぐ政策をしてもらいたいです。また、市では新城から離れて活躍する方が帰省した際に市の特産品をプレゼントする政策もしていますが、とても良いと思います。そのような方策をいろいろやっていただいて人口減少を食い止めてもらいたいです。	人口の減少は、日本全体が人口減少の時代に入っており、避けて通れない問題であると思っています。新城市の人口動向の特徴として、15歳から19歳と20歳代前半の世代の転出超過が大きいことが挙げられます。簡単ではありませんが、全世代の中でこの部分を均衡に近づけていくための努力をしております。若者に選ばれるまちとして、若者政策をより発展させていくことも行政の責任と考えています。次に働く場所について、市内には製造業を中心とした優良な企業がありますので、働く場所がないといった認識を改めていただけるよう商工会や企業と連携して高校生や中学生といった若い世代に情報提供をしていくことも行政の責任と考えています。山の湊号については運行開始から7年が経ちますが、新城から大学に通う学生さんに使っているなど一つの路線として定着してきた側面もあると思っています。まだ利用したことのない方にバスの利便性や快適性を知っていただいて利用者を広げていくためコロナ禍においてもキャンペーンを行ってきました。また、長久手市にも協力をお願いしていますが、近隣の日進市など若い方が多く住んでいる市とも連携してバスの認知度を高めていきたいと思っています。(市長)	左の回答等のとおりです。(産業振興部長、市民協働部長)
千郷	5	10月25日	西部公民館	都市計画税の使われ方について	都市計画税を納めていますが、川田地区では側溝もない道路があります。また、市街化区域であっても建築許可が下りない所もあり、都市計画税の使われ方に不信感があります。	皆さんのお気持ちとして受け止めさせていただきます。(市長)	—
千郷	6	10月25日	西部公民館	青ハト隊の充実について	青ハト隊は先細りとなり手がない状況です。また、市内の青ハト隊によって若干違いますが、報酬もガソリン代もなしで活動しています。市長マニフェストには青ハト隊の充実とありますが、具体的にどのような政策をお考えでしょうか。	隊員の拡充や活動の充実に向けては、市内行政区を跨いで活動をしていただいている地域もございます。1つの地域だけで活動ができなくなったときは2つの地域が連携して協力し合うことが今後の持続可能なあり方と思っています。行政としてどのようなサポートができるか考え、お示しできるように進めていきたいと思っています。(市長)	左の回答等のとおりです。(総務部長)
千郷	7	10月25日	西部公民館	用地買収の価格と職員の対応について	6月議会で予算案が修正された学校用地の買収について、不動産鑑定を根拠に高額な単価で買収しようとしている。価格が適正なのか判断できるよう、市の職員はもっと勉強してもらいたいです。また、こちらから呼ばないと職員が出てこない、担当がいらないから明日また来てくださいなど、職員の窓口対応がすごく悪いです。	職員の対応につきましては、ご指摘をいただきましたので今後も丁寧な対応を心掛けていきたいと考えており、そのように指示も出しているところです。学校用地の買収の件につきましては、あくまでも鑑定評価に基づく価格でしか判断できないという事情もございましたが、ご指摘を受けまして今後の用地取得の際に参考とさせていただきます。(市長)	買収価格の算定につきましては、ご指摘を踏まえた検討を庁内で行ってまいります。(教育部長)
千郷	8	10月25日	西部公民館	作手地区の風力発電について	作手地区で計画されている風力発電施設の建設についてどのように考えていますか。	作手地区、特に関係する地域の状況を把握しております。事業者は地域の皆さんの同意、理解がない中で事業を進める考えはないとの発言をしておりますので、事業者にはそのことを踏まえ適切な判断をしていただきたいと思います。(市長)	左の回答等のとおりです。(市民協働部長)
千郷	9	10月25日	西部公民館	職員の残業について	毎晩市役所の前を散歩していますが、9時半、10時になっても庁舎に電気がついており、本当に夜遅くまで職員が仕事をしています。電気をつけるのも残業も皆税金です。これでは職員は子育てもできません。家庭も壊れてしまいます。職員を家庭に帰してあげてください。市の事業をもう少し絞ったらよいと思います。	わかりました。(市長)	—
千郷	10	10月25日	西部公民館	所有者不明の土地の管理について	お宮の後ろの相続がなされていない土地について、年に5、6日私が草刈りをしています。この土地のことについては以前市長さんにもお話をしていますが、まだ何も回答がありません。最後まで市民のことを大事にしてください。	わかりました。(市長)	—
千郷	11	10月25日	西部公民館	施策の効果測定について	大河ドラマを利用した市の観光PRとして、500万円の予算を使って講演会を行っていますが、市議会では「また新城に来ていただくための効果のあるものにいたします」と答弁されています。私は観光課長に、講演会来場者へ設楽原歴史資料館などのチケットを販売し、チケットにはわかりやすい印を付けておけば講演会がきっかけで施設に来訪したということがわかるような仕掛けが必要ではないかと提案をさせていただきました。仕掛けをしないと施策の効果は測れないと思いますが、実際に何かの効果測定はされているのか伺います。職員の皆さんは非常に真面目な方が多い印象を受けます。しかし、組織になると突然何もなくなる、他人事、無責任になると感じられてなりません。組織というものが怖いところであることを市長が自覚していただき、職員を育てていただきたいと思います。	様々なご提案をいただきありがとうございます。設楽原歴史資料館と長篠城址史跡保存館の来場者数については、具体的な数字を持ち合わせておりませんが、大河ドラマの影響により来場者数がかなり増えております。具体的な来場者数の推移は改めてお示しさせていただきますと思います。(市長)	令和5年のNHK大河ドラマ「どうする家康」の放映により、設楽原歴史資料館では11月までに32,012人の入館者があり、平成8年の開館以来の最高記録である平成28年度の39,630人に次ぐものとなっています。さらに、長篠城址史跡保存館では11月までに35,681人の入館者があり、これは過去20年間で最高であった平成28年度の35,380人の記録を大きく塗り替える反響となっています。また、大河ドラマ放送期間中、設楽原歴史資料館と長篠城址史跡保存館では岡崎市の大河ドラマ館と、入館チケットの半券を窓口で提示していただいた場合、観覧料金の割引を行うという協力を実施しており、他市の資料館施設へ観光客を誘導する相互利用の促進にも取り組んでいます。(教育部長)